保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

公表：令和　6年　3月　20日

事業所名　こばんはうすさくら　岩槻教室　　保護者等数（児童数）　29　回収数　22　割合　75　%

		チェック項目	はい	できるようになる	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	4	1	1	活動している時間を見たことがないのでわからない。	保護者の方も参加型のイベントの企画も考えています。が、お子様の様子を拝二事で決められると思います。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	3		3	現在の職員の人数、職種がわからない	職員紹介等のおたよりを作成し、配布させていただきます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	4		7	仕方がないですが、出入口の階段が急です。室内は問題ないと思います。	ビルの構造上エレベーターの設置がないため、安全に階段のよりりが できるよう介助させて頂いています。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※1が作成されているか	21	1				
	5	活動プログラム※2が固定化しないようエ夫されているか	20	1	1		毎月計画を立ててプログラムを考えてくれています。	お子様が楽しんで参加できるプログラムを今後も考えていきたいと思います。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	4	5	5	コロナも落ち着いたので、そろそろ機会があればよいなと思う。	たくさんの方と関われる機会を積極的に作っていこうと思います。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	1			契約の時に丁寧におしえてくれました。	不明点等ございましたら、お気軽にお問合せください。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達や状況や課題について共通理解ができているか	21	1			毎回、こかりは個別指導の時間がありに、訓練の成果も出ていてとても感謝しています。	ありがとうございます。引き続き、個別でしっかりお子様の苦手なところをサポートしていきたいと思います。
保護者への説明等	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	2			いつも親身になって相談に乗ってくれます。	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	5	8	5		新型コロナウイルス感染症5類に引き下げられたこともあり、保護者会や保護者参加のイベント等も開催していきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	5		3	苦情がありません	ありがとうございます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	5			いつも詳しく教えて下さりありがとうございます。	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や事務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	3			毎月お便りで楽しそうな様子が伝わってきます。	ありがとうございます。引き続き、お子様の笑顔、楽しい空間発を引き続きたくさんお伝えできるように発信していきます。
	14	個人情報に十分注意しているか	17	1		3		
常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	6		6	感染症が流行っていると、教えてくれます。	教室内でも、緊急時に対応できるよう準備しています。保護者の方にわかりやすいように発信していきたいと思います。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	5		6	学校や他のデイにも通っているので、回数はわたかもしれないが現在はわからなくなってしまった。	緊急時に対応できるよう避難訓練を実施しております。避難訓練の様子もお便り等で発信しています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	18	4			とても楽しく通所しています。いつもありがとうございます。	引き続き、お子様が楽しく通所できるように楽しいプログラムを考えていきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	19	3			子どもの成長をとてもみんなしています。	保護者の方のご理解、ご協力があってのことです。ありがとうございます。引き続き、保護者の方々に満足していただけるような支援を
			289	58	15	39		72%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和　6年　3月　20日　　事業所名　こばんはうすさくら　岩槻教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容及び改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	14	2	少し狭く感じますが、パーテーション等を用いて場合分けで活動しています。	
	2	職員の配置数は適切である	12	4	職員間を一定にするようにしていますが、少なくなって、まうひは小さめに声掛けをし、職員間まで協力あっています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	15	1		事業所が2階で、エレベーターがない建物ですみますが、必ずお子様が学校に通えるように階段等はしっかり取ります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	16			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	16		保護者の方のニーズを把握するために、定期的にアンケートを行っています。	表示して通って頂けるよう、引き続きアンケートを行いて要望に添えるよう支援していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	15	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	14	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	16		参加できない職員もいますが、会議で内容は全員に共有できるように資料を作成しファイリングしています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	16		ケース会議等にさきのに行い、色々な職員の意見を取り入れながら作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	16		太田スケーリングを使っています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	15	1	色々な職員の意見を聞きながら行っています。	正社員中心になってしまっているので、パート職員の意見も取り入れながら行っていこと思います。
	12	活動プログラムが固定化しないようエ夫している	15	1	毎月のプログラム内容とかぶらないように気を付けています。	内容やその日のスケジュールを作る担当も変えながら、同じプログラムにならないようにしています。色々な職員からアイディアをいただき
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	14	2	職員同士で話し合い、内容が偏らないようにしています。	休日や長期休暇だからこそやるプログラムを積極的に取り入れています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	16		個別、集団どちらも取り入れています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	16		毎月やケース会議でよく話し合っています。毎つきがあれば全体でお知らせ。毎回も確認行っています。個々で困っていることを共有し、おいお手様へ支援できるようにしています。	全体に共有できるようにこころがけています
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13	3		送迎業務等で、支援終了後に振り返りをするのが難しいため、次の日の朝礼で必ず共有するようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	15	1	個別活動や集団活動の様子を細かく支援経過記録に記録し、その記録を見返しながら次の支援内容を考えています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	16		見直しもこまり行い、職員間で共有をしています。	ケース会議もこまめにおこない、共通認識で支援できるようにしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	16			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	16			参加する職員が偏ってしまうので、色々な職員が参加できるよう、一人ひとりのスキル向上を目指していきます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	16		送迎の際や、必要に応じて電話で対応しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	14	2		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	14	2		全ての お子様に対してできているわけではないので、受入して移行できるよう積極的に情報共有をしていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を提供する等している	15	1	まだ18歳以上の子が通所したことがないです。	
	25	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	14	2	外部での研修は適宜職員に通知しています。	出勤者等の来わ合いあり全員が行けるわけではないのですが、みんながしっかりスキルアップできるようにしていきたいと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	10		活動時間内での音り組みは難しいのが現状です。たくさんの方と交流する機会を取りれるよう考えて行きたいと思います。
	27	「地域自立支援」協議会等へ積極的に参加している	11	5	積極的に参加し、他事業所の方たちと意見交換をするようにしています。	参加する職員が偏ってしまっているので、色々な職員が参加し、一人ひとりのスキル向上を目指していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	16		保護者の方には送迎時に直接お話しをし、相談などあれば時々帰り他職員とも相談、共有しています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	12	4		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	16		利用者負担につきましては、契約の時だけでなく、毎月に書いていただいた時にも説明させて頂いています。	
	31	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	16		送迎時に保護者の方と直接話お話ができるため、ちょっとしたことでも相談しやすい、話しやすい環境が作れるように対応を気を付けています。	保護者の方の不安を少しでも軽くできるよう、引き続き支援していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	10		コロナなどにより、感染のリスクを考え保護者会等は行っていませんでしたが、保護者同士の連携のために保護者会の開催を計画中で、検討したいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	16		安心して通って もらえるよう、相談事は迅速に対応できるようにしています。	様々に検討し、その場で回答するのではなく、一度持ち帰り相談し、関連した答えをすることの無いよう努力を付けています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	16		写真を多く使い、子どもたちの活動の様子が伝わりやすいように工夫しています。	
	35	個人情報に十分注意している	16		シュレッダーなどを活用し、個人情報は注意して取り扱うようにしています。	職員全体に今一度個人情報の管理の仕方を再共有します。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	16		支援経過記録だけではなく、送迎の際にしっかり保護者の方に様子等お話するようにしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	8		感染症等のリスクがあった為、現状は難しいように思じますが地域の方々と気軽に接触が継続できる、また、情報を得られるようにできる
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	16			マニュアルは策定していますが、職員一人一人が、しっかり理解できているか再度確認します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	16		毎月開催しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	16		虐待防止委員会を設置し、研修を行っています	全体に共有し、虐待が起こらない環境づくりをしています。
	41	どのような場合に中止を得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たとて、放課後等デイサービス計画に記載している	16			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	16			重度のアレルギーを持った お子様を お預かりしたことがないため、まだまだ知識不足なところがあります。いつでもお預かりできる体制を整えていきたいと思います。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	16		ヒヤリハットをこまめに記入するようにしかけています。	毎月、事例を出しあげケース会議を行い、記録を作成し保管しています。